

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名 ディスポーザブル硬性子宮鏡導入に関する研究

研究の目的

近年、生殖医療分野において、反復着床不全や流産を引き起こす一因として、慢性子宮内膜炎や子宮内膜ポリープの存在が指摘されています。そのため、当院産科婦人科不妊外来でも、積極的に子宮鏡検査を行っており、子宮内膜ポリープを診断・治療することも多くなってきています。以前より LIN スネアTMを用いた子宮内膜ポリープ切除を行ってきましたが、2023年11月より新たにディスポーザブル硬性子宮鏡(オペラスコープTM)による子宮内膜ポリープ切除を導入しました。

本研究では、新たな器具を使用した症例を集積し、従来の器具との違いや手術成績等の比較・検討することを目的とします。本研究を通じて、オペラスコープTMの有用性を検証することを目指します。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2026年 3月 31日

対象となる方 2023年11月～2025年3月までの期間、弘前大学医学部附属病院産科婦人科を受診し、子宮内膜ポリープの診断がなされ、ディスポーザブル硬性鏡を用いて子宮内膜ポリープ切除術を施行された方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院の診療録に記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) 年齢、既往歴、妊娠分娩歴、合併症
- 2) 受診契機
- 3) 症状
- 4) 診察所見や検査データ
- 5) 手術に関する情報（手術時年齢、手術時間、出血量、手術方法、術中合併症、術後合併症）
- 6) 術後経過（妊娠の有無や妊娠経過も含む）

これらの情報を元に、新たに導入した手術器具における治療成績の評価・検討を行います。

なお、利用に当たっては氏名・住所・電話番号・患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います（これを匿名化といいます）。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。また、本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	地域医療支援学講座・横田 恵 連絡先 TEL：0172-39-5107 / e-mail：megumi-y@hirosaki-u.ac.jp
-------	---